

令和 5 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	6 2		学校名	茨城県立藤代高等学校				課程	全日制			学校長名			根本 雄一			
教頭名	大竹 伸輝												事務（室）長名		加賀谷 智美			
教職員数	教諭	3 8	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	1	実習教諭、実習講師、実習助手		2	事務職員	3	技術職員等	3	計	5 3	
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計 クラス数					
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普 通 科		1 3 1	9 4	1 2 1	1 1 8	1 1 1	1 1 9			3 6 3	3 3 1	1 8					

2 目指す学校像

・一人一人の生徒と誠実に向き合い 高い知性 たくましい気力 礼節を重んずる人間を育成する学校 ・みずからの力を信じ 社会の中の人間として たゆまず真理を求めることのできる人間を育成する学校 ・地域に信頼され 地域から日本・世界へ グローバルな視野を持つ人間を育成する学校

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	（長期的目標） 将来的に、地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人財の育成
教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	（中期的目標） 取手市内の公立の進学校として、生徒の学習ニーズに対応した教育課程による、進路希望の実現
入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	（短期的目標） 共通選抜と特色選抜を実施する中で、自分の目標実現を目指し、日々努力する生徒

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒の家庭学習時間が少なく、予習・復習に常に取り組んでいる生徒の割合は 50%以下である。受け身の態度で授業に臨んでいる生徒も少なからずいる。	学習への意識啓発及び主体的・対話的で深い学びに導く、授業改善に取り組む。
進路指導	大学への進学希望が 90%以上であり、その多くが国公立大学や難関私立大学を希望している。達成状況は、少しずつ上昇傾向にあるが、満足できるレベルに達成していない。	生徒の適性・興味・関心・進路希望等を正確に把握し、進路実現のための組織的・系統的な進路指導を推進する。
生徒指導	交通安全面に関して、非常に危険な事例も発生しており、危険予測・事故防止についての十分な指導が必要である。	交通安全の理解を深め、規範意識の高揚と基本的生活習慣の確立・定着を推進する。
特別活動	部活動や学校行事については 90%以上が充実感を感じているが、学習との両立に苦慮している生徒もいる。県の方針に従った健全な部活動運営を遵守する。	生徒の個性・自主性を認め、伸ばし、発揮させる特別活動・部活動を展開する。キャリア・パスポートを活用し、自らのキャリア形成を図る。
働き方改革	社会の変化に伴い学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、教員の長時間勤務の実態が明らかになっている。	勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進し、学校業務の見直しを図る。

5 中期的目標

- 1 確かな学力の涵養
- 2 一人一人に寄り沿った進路指導の充実
- 3 豊かな心及び道徳的実践力の育成
- 4 開かれた学校づくり
- 5 学校における働き方改革の推進
- 6 教科及び学校の授業改善推進

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
確かな学力の涵養	① 基礎基本の徹底と自主的・能動的な学習習慣の確立 ② 学習意欲を高める主体的・対話的で深い学びを意識した授業の改善 ③ 国際理解教育の充実と海外派遣プログラムの推進
一人一人に寄り沿った進路指導の充実	④ 進路実現のための組織的・系統的なキャリア教育の推進 ⑤ 的確な情報提供による主体的な進路選択能力の向上
豊かな心及び道徳的実践力の育成	⑥ 基本的生活習慣の確立・定着 ⑦ 規範意識の高揚と自主的・自立的・自律的態度の育成 ⑧ 学校行事や生徒会活動、HR 活動、部活動の充実
開かれた学校づくり	⑨ 教育活動の積極的な情報発信 ⑩ 保護者や地域の声等の情報収集と地域の教育力の活用
学校における働き方改革の推進	⑪ 勤務時間を意識した働き方の推進 ⑫ 学校業務の見直し
教科及び学校の授業改善推進	⑬ 生徒の満足度が高い授業の実践 ⑭ 生徒の希望進路の実現に資する授業の展開 ⑮ 生徒による授業満足度 3.0 以上